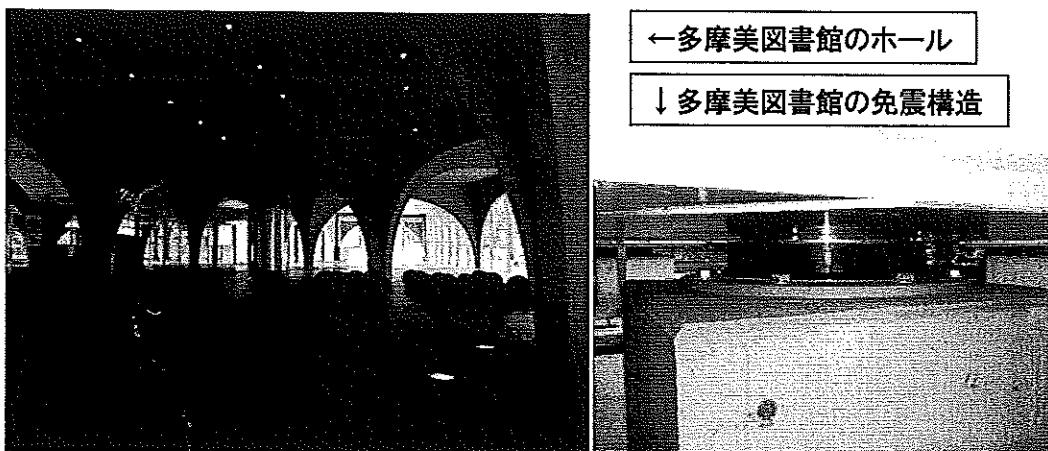


12月セミナー

# 導入ゼミナールまとめレポート

10N1042 建築学科 菊地 正太郎

導入ゼミナールの授業をうけて、法政大学建築学科に入学して良かったなあと改めて思いました。友達がたくさんできたのもこの授業があったからですし、建物を見ることが好きになったのもこの授業のおかげです。



浅草の雷門に集合して行った完成途中の『スカイツリー』。自然がいっぱいだった『多摩美術大学の図書館』。もう一度行ってみたいと思った乃木坂『ギャラリー間』。ウォークラリーで回った原宿・表参道のブランド(Dior etc.)のお店。どれもすばらしい建築物でした。先生の説明が加わることによってさらにすばらしいものだと感じることができました。

いつか自分が大人になったとき、今度は説明できる側の人間になってみたいと思いました。また、自分がこれからしたいこと、成し遂げたいこと、なりたいもの、それが見えてきたようにも思えました。

この導入ゼミナールがあつて本当に良かったと思いました。始まったばかりの頃は、実際『面倒だなあ』と思ったりすることもありました。しかし、回数を重ねるごとに先生の話を自分なりに理解することができたり、たくさんの建築物に触れることがより自分がどのようなデザインを好むのかもかりました。



また、免震構造の部分を直接見るなどの貴重な体験もさせていただきました。本当に佐々木先生、TAのみなさんありがとうございました。そしてこれからもよろしくお願

いいたします。

## 導入ゼミナールレポート

(ウォークラリーの感想など) 佐々木セミ

建築学科一年 10N1043 北井里沙

ウォークラリーでは原宿駅から表参道駅まで歩きましたが、とても濃い時間でした。  
私は神奈川県に住んでいるのですが、あまり東京には来たことが無く、  
今回おしゃれな町並みにとても刺激を受けました。

まずは国立代々木競技場へ行きました。  
第一体育館は、一目見て変わった形だなと思いました。  
他では見られない独特さがあると思います。  
吊り構造という言葉は初めて聞きましたが、  
お話を聞いていたるといかに名建築なのか私にも伝わってきました。  
そして隣にある第二体育館が、第一と同じ雰囲気で親子のようでいいなと思いました。

次にジャイルを見ました。  
壁が焦げ茶色ででこぼこしていて、隣にある Dior とは対照的でした。  
こちらは、全体の色が白と無色透明で、形は長方形ですっきりとした印象でした。  
『hhstyle』、『Luis Vitton』はガラス張りで、地震に弱そうに見えます。  
『hhstyle』では中に入って変わった家具も見られて、面白かったです。  
『表参道ヒルズ』の辺りの通りは緩やかな坂道になっているのですが、  
その場所に会った工夫を見ることが出来ました。  
『TODs』は全体がガラスなのですが、けやきモチーフのコンクリートで囲まれていました。  
最初は何だろうと思いましたが、けやきと聞いて納得しました。  
建物自体は目立つけれども、街には溶け込んでいるような感じがしました。  
個人的に『PRADA』はとてもインパクトがありました。  
ガラス張りの建物はこれまで多かったですが、異なる雰囲気を醸し出していました。  
全体がひし形のマスで構成されていて、遠くから見るとよくわからないのですが、近くで見ると  
いくつかのマスはでっぱっていて、またいくつかのマスはへこんでいました。  
平らなものもいくつがあり、それぞれのガラスの形によって中の見え方が違いました。  
最後に行った『根津美術館』は閉まっていた残念でしたが、  
またの機会に行きたいと思います。

今回のウォークラリー、そして導入ゼミ全体を通して、  
外からまたは中から建築を見ることによって、  
自分の中でそれに対する意識が少しずつ高まり、変わってくるのがわかりました。  
先輩方や教授のお話も、難しかったですが聞けて良かったです。  
まだ『安藤忠雄』、『伊東豊雄』、『妹島和世』、『SANNA』…など、有名な人々に関して名前を覚えた程度なので、これからもっと調べたり本を読んだりして勉強していきたいです。  
私は良くライブや舞台を見に行ったりするのですが、それも建築を学ぶ上で良い機会であると知りました。これからはライブ会場のホールやスタジアムについて調べてからそこへ行ってみたいと思います。

他のゼミでどこを歩いて何を見たのかも気になりますし、  
今度は友人たちと街歩きをしてみたいと思います。

## ウォークラリーの感想

10N1044 木下真 佐々木ゼミ

佐々木ゼミのウォークラリーでは原宿駅から表参道を青山方向に進んで行った。1番はじめに行った代々木第一体育館では1964年に作られた建築であって日本が世界に誇る名建築であり、作られたのが最近ではなくて自分の生まれるずっと前にこの様な名建築が出来ていたと知って驚いた。世界でも稀な吊り橋のような構造であって自分には何故吊り構造にする必要があるのか理由が分からなかつたが、設計者である丹下健三氏が観客のことを思つて観客が競技に集中出来る様に内部に柱を持たないような構造にしている、ということが分かつたときに人の事を思つて建築を作つていて建築家とはこういう人の事をいうのかなと自分は思った。また、上空から見ると卵を半分に切つてずらしたような奇妙な形であるがそのずれたところは出入り口になつていてスペースを有効に使つてるのでこれにもまた驚かされた。さらには都市建築を得意にしている丹下健三氏なのでこの代々木体育館は近くにある明治神宮にも関係がある。それは明治神宮の本殿の正面からまっすぐ延長すると代々木体育館にぶつかるというものであつて、そこまで考えていてただただすごいとしか言えなかつた。

次に表参道ヒルズを行つたが、表参道がやや傾斜がついているのでその傾斜に合わせて内部も傾斜がとられていた。表参道ヒルズはショッピングをする場所なので、お客様がそれぞれの店を順々に見ていけるように規模が大きい螺旋になつていてお客様のニーズに合つてゐるようと思つた。以上の2箇所を見るだけでもお客様のニーズに合つた建築を普通の人では考えつかない様な高度な次元で作つていて表参道ヒルズでもまた驚かされた。

今回の佐々木ゼミのウォークラリーでは建築のなかでもあまり普段では見かけない独特なものを多く見たので自分の知らないことがほとんどで、ウォークラリー中はずつと「すごい」しか言つてなかつた気がする。今回、佐々木ゼミに参加させていただいたいろいろな建築を見させてもらって建築に対してさらに興味が湧いたし、もっと色々な建築を見たいので個人的にもウォークラリーをしてみようという気持ちになつた。

「導入ゼミ」 (所属: 佐々木先生)

## ウォークラリー (表参道)

10N1045  
金 考 中  
キム ヒヨ ジュン

「コムデギャルソン」の下は独特の曲線を持っているし、お客さんたちのプライバシーのために丸い模様の穴があった。ブルーの色で若い感じがありました。さらに、建物のしらし、川が流れている感想も与えた。

「PRADA」の建物は、凸のガラスと平面のガラスの組み合わせがすごく好きでした。凸のガラスだけとか、平面のガラスだけが与える感じ以上でした。また、反射ガラスじゃないので、建物の透明さが見えました。もちろん、ガラス特有の反射はあった。その日は雨が降る日だったので残り多かった。また、ライトアップして反射される硝子も感じて見たい。(光の屈折とか)

[Louis Vuitton] の象徴であるトランクかばんを隠喩的に表現した「Louis Vuitton」の売場も面白かった。また、「Burberry」から日本の60年代の建築様式 (Metabolism) を見られて良かったと思う。



表参道ヒルズを含めて安藤忠雄の建物を見たが、その特有の露出コンクリートが嬉しかった。索莫な灰色都市でコンクリート建物はもっと不毛な都市のように見えるかも知れない。しかし、彼ばかりの感覚で粹な感じを表現した。実際に触って見たら、見ることと違うようにコンクリートの壁は冷たくなかった。

「Dior」の売店は建物全体が外からは見えない構造だった。まるで白の薄い膜を着せておいたような姿だった。全面硝子が与える透明性や涼しさは探しにくかったが、それなりの夢幻的な雰囲気は良かった。また「Cartier」の売場はダイヤモンドを形状化させたような姿で、「Cartier」の高級な雰囲気を漂っていた。その隣の「Omega」建物も雄壮なオルガンを見るような感じだった。少し、奇怪ながらも雄壮な感じが良かったと思う。

全体的に表参道は建築家たちのギャラリーみたいだった。狭い美術館ではない足で歩いて通いながら見た建物一つ一つは忘れることができないようだ。またブランドのロゴよりも建築物そのものの目立つ点が本当におもしろかった。また今度ウォークラリーは時間が短くて表参道を詳しく見られなかつたことが惜しかった。次には夜に訪問してライトアップした建物の姿も見たい。

## 導入ゼミ&ウォークラリー

10n1046 草桶 開

### 一回目 スカイツリー

- ・浅草にスカイツリーを見に行った。スカイツリーはそのときすでに349mだったので、東京タワーよりも高かったが、結構な太さがあるので思っていたよりも高く感じなかった。スカイツリーは600mを超えるらしいが、それはかなり凄いと思う。みんなに縦長なのに耐震構造がしっかりしているというのは、今まで多くの人がかなり研究したことが分かる。そう考えたら自分ももっと沢山のことを学ばなければいけないと思った。早く完成したスカイツリーを見たい。

### 二回目 国立近代美術館&ギャラリー間

- ・国立近代美術館で見た七つの建築家の方々の作品はとても個性に溢れており、パッとイメージできる建築とは違うもっとアーティスティックなものばかりで、とても刺激を受けた。あまりに抽象的すぎてまだ私には理解しきれないものもあったが、いつか自分もそのような芸術的なものを作りたいと思った。

一方ギャラリー間はとても生々しい建築で、製図や模型などが大量にあった。製図はとてもきれいで細かく、見ていて心地よかった。また、見ているだけでも参考になる部分が多くあったのでよかった。模型はどれも独創的なものばかりで、アイディアの量が半端じゃないと思った。ギャラリー間はまた行こうと思う。

### 三回目 多摩美術大学&神奈川工科大学

- ・佐々木教授が構造を担当したという多摩美の図書館はどこを見てもおしゃれで、終始楽しかった。かつてよすぎて真似したいくらいだったが、そういうわけにもいかないので残念。でも参考にしたい。いつか私も他の人にそう思われるくらいの素敵な建物を建てたいと思った。構造部分の説明では耐震構造に関する専門的な話が聞けたのでよかった。

神奈川工科大の造形所は、とにかく驚きばかりだった。全面ガラス張りでしかも細い柱しかないという私のなかの常識を覆す設計だった。ここもまたおしゃれで、とても素敵だった。このような刺激的な建造物は、やはり本物を見るのが一番だと思う。この世界にはまだまだ多くの刺激的な建造物があると思うので、これから多くの旅に出て、多くの刺激を受けたらいいなと思った。

## ウォークラリー

- ・原宿、表参道を歩いた。まず代々木体育館を見た。代々木体育館には以前ライブを見に行ったが、そのときとは建物の見方が全然違ったので、多くの学ぶことがあた。あのような特別な形の建物もちゃんと計算されてるのが分かったので、むやみやたらに変な形のもの作っても意味ないんだなと思った。  
表参道の建物はすごいものばかりだということに驚いた。表参道には小さいときからよく足を運んでいたのだが、今回建物だけに注目して歩いたので不思議な感じがした。知ってる建物のはずなのに全体をよく見ると予想してたよりもかなり手のこんだものが多く、教授の説明を聞き背景を知ることで全く違う印象を受けた。  
やはり表参道はどこを取ってもおしゃれだった。

## 全体の感想

- ・全体を通して勉強になることが多いよかったです。この四日すべてにおいて同じような建築を見る事ではなく、建物すべてに個性があつて素晴らしいかったです。  
建築は奥が深い。ただ一つのことを学ぶだけじゃ到底足りず、広い分野を学ばなければならない。そう強く感じ、勉強する意欲が湧いた。  
とても充実した導入ゼミ＆ウォークラリーだったと思う。

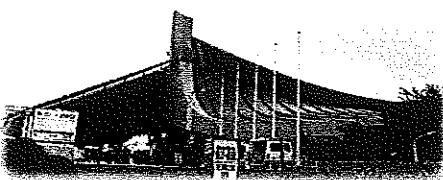
# 「ウォークラリーの感想」

10N1047 佐々木ゼミナール 久保公人

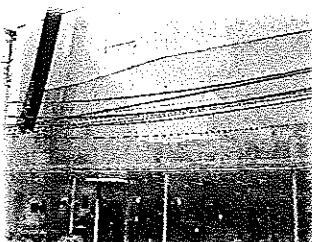
私たちは、原宿駅に集合し、表参道を見学してきました。具体的には、・代々木体育館・ジャイル・Dior・hhstyle・NIKE・表参道ヒルズ・Louis Vuitton・TODs・ONE・PRADA・Carina・根津美術館を見てきました。

その中で、私が興味を持った建物、TAの先輩から説明を聞いて驚いたことなどを紹介したいと思います。

まずは、代々木体育館。第一体育館・第二体育館とも、吊り橋と同様の吊り構造の技術を用いていた。最初見たとき、すごい迫力だった。吊り屋根方式を見て、こんな発想が出てくるなんて！と思いました。



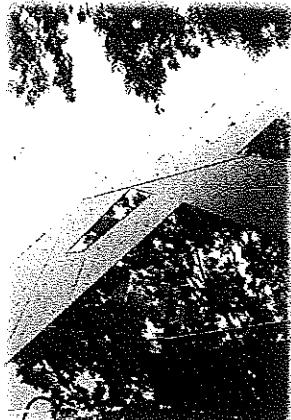
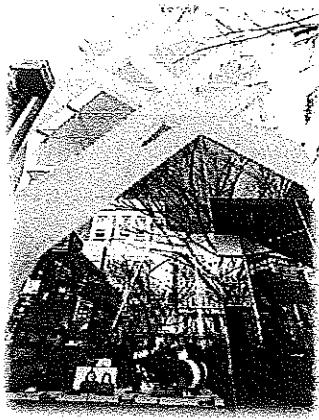
次にhhstyle。壁一面縦のストライプが半透明のガラスにプリントされていた。とてもおしゃれな建物だなと思った。また、柱が白く細い柱だった。中に入ってみると、三階建で、長い階段スロープがとても印象的だった。



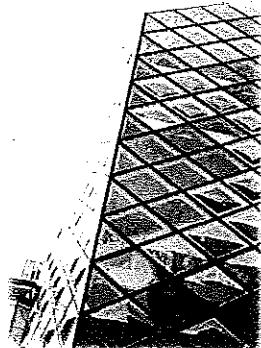
Dior、Louis Vuittonは、やはり高級感を感じる建物だった。どちらの建物も、一枚一枚のガラスが大きく、お客様を引き付けるように工夫したのでは？と思いました。



次にTOD's。今回のウォークラリーで一番印象に残った建物です。なんでこんなに適当にコンクリートとガラスを使っているのだろう、少し変な構造だが、なんだか心惹かれる建物だなと思った。TAの添田さんからの「街の並木、木漏れ日を表現してるんだよ。」と聞いて、なるほど、建物にこの街の木漏れ日を表現するなんてすごいなと思いました。



最後にPRADA。すごい迫力ある外観だった。ひとつひとつのひし形のタイルを見てみると、凹凸がいろいろあって面白かった。外から見て思ったのだが、内部に柱が一本もなかった。先生が言うには、免震構造を採用しているらしく、地震が来ても大地の揺れを建物に伝わらないようになっているらしい。だから、建物と大地の間に、少し隙間があったみたいだ。あんな隙間で大丈夫なのかなと思うのだが、実際大丈夫なのだから、建築物は、奥深いなと思った。



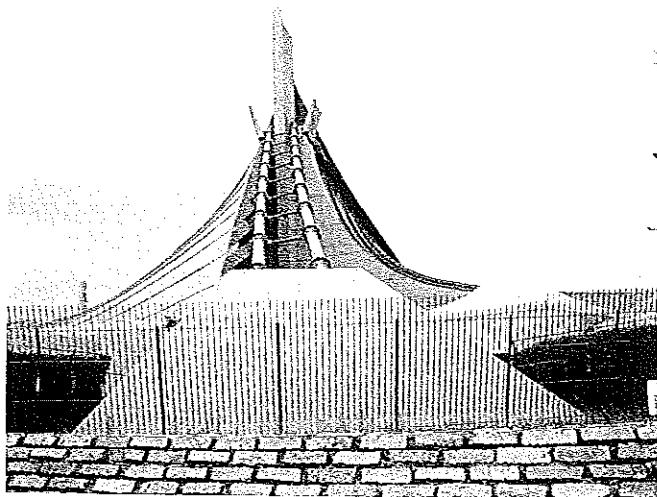
今回、表参道を散策してみて、また新たにたくさんの建造物に触れることができた。どの建物も、ある目的を達するためにいろいろな工夫がしてあった。

この佐々木ゼミナールで、いろいろな種類の建造物を見ることができた。曲線を巧みに使って、光がたくさん取り込むことができる、多摩美術大学の図書館や、一つの大きな空間を、柱をたくさん使用し、いろいろな空間を表現した、神奈川工科大学の建物など、普段一人ではなかなか見学しにくいものも見ることができた。私も今から、たくさん勉強し、いろいろな知識を身につけ、少しでも多くの建造物に触れられるよう、努力し、頑張りたいと思います。

# 建築ウォークラリーの感想

10N1048 黒木 円  
(佐々木ゼミ)

5月30日のウォークラリーで特に私が感銘を受けたいいくつかの建築について、感想を述べようと思います。



まず始めに行ったのが国立代々木競技場。

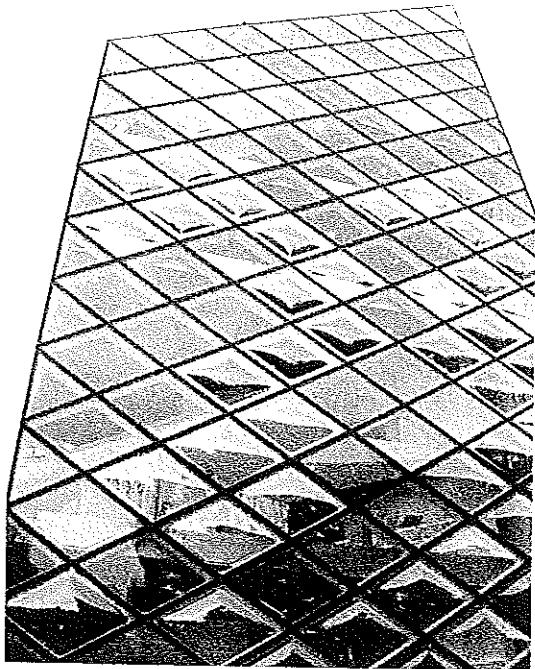
世界的にも珍しい、高張力による吊り屋根方式になっている。まだ私には構造のことは詳しくわからないけれど、コンクリートの塊を鉄と組み合わせて、こんなにも湾曲な建造物を創り出したことに驚いた。さらには観客15000人がきれいに動くよう

に、休憩時間にその人達が歩くときにもきれいなムーブメントが起こるような形をと強く考えられており、またそれが狙い通りになっていることを知ったとき、建築士のすごさと、やはり建築とは人の流れと平行して考えるものなのだと知らされた。



次に表参道ヒルズ。と言えば、ケヤキ並木を越えないよう配慮された高さと調和である。と言われているだけあって、注目して見ても並木と調和しているのがよくわかる。表参道というたくさんの人種が行き交う

街で見事に”背景”としての役割を果たしていると感じた。都心の建物となると、人ととの調和、街との調和、引き算の建築が大切なのだとと思った。



そして最後は表参道の数ある建築物の中でも群を抜いて目立つのがこのプラダ・ビル。正直、実物はウォークラリーで初めてみた。よくこの建物を書物などで奇怪と読むことがあったが、私の予想を遥かに越えていた。奇怪なんかではなく奇抜だった。この様な建物をデザインすることは容易でも、本当に空間として創り出すことは私でも難しいことだとわかる。また柱が一本もないことも、この建物をスマートに見せることに一役かっている。免震構造が施されていて、地震がきても大地の揺れを建物に伝わらないようになっている。



そして免震構造といえば左写真のダンパーである。導入ゼミナール全体で何回か見ることが出来た。大地が揺れても建物は揺れない(地震と逆方向に建物が揺れる)という、今までの耐震構造とは全く違う耐震設計である。私が建物を設計するときが来たら絶対に用いようと思う。

計3回の導入ゼミナールで構造の知識を得てから、今回のウォーカラリーをしたので今までとは違った見方で表参道を歩くことができました。

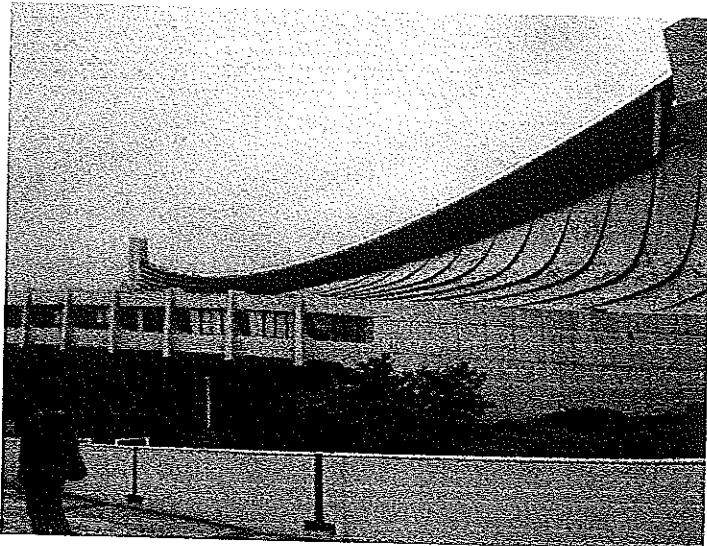
## 導入ゼミナール 5/29 ウォークラリーレポート(佐々木ゼミ)

10N 1049 小宮 みちる

導入ゼミ→5/29@表参道

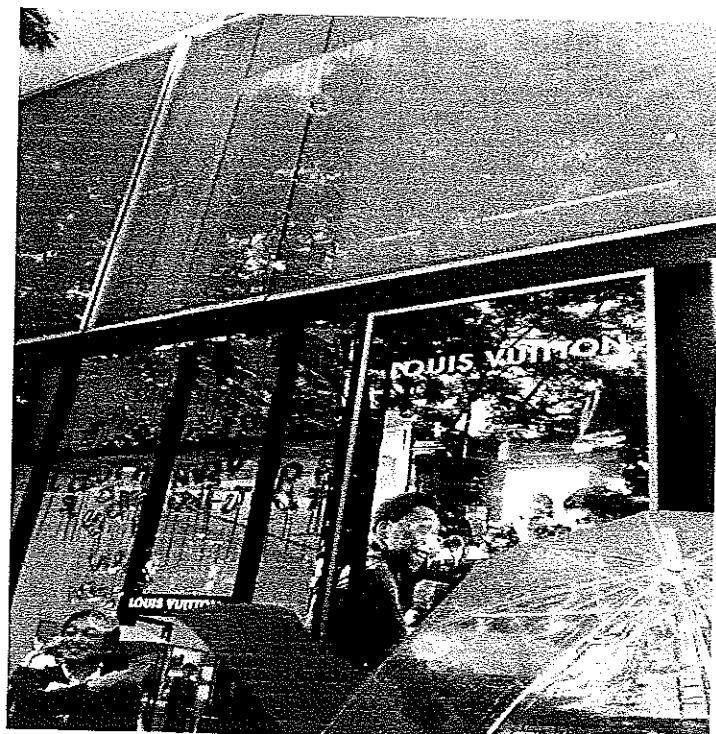
### ・代々木体育館

法政大学の教授の坪井教授の父が設計した戦後日本の代表的な建築物だということを初めて知り、驚いた。外見からも、他にあまり見ない建物すごいと思い、面白い建物だと感じたが、建物の内部の構造も、柱がほとんどない構造になっているということを知り、改めてこの建物のすごさを感じた。



### ・表参道

普段からたまに通る表参道も、建築のことを考えながら通るということは初めてで、新鮮な気持ちであった。また、表参道にある建物も改めてしっかり見てみると、とても奇抜な面白い建物が多いと思った。また表参道という高級なものが売られているお店が多い通りに見合ったお洒落で高級感がとても感じられる建物が多くて、環境に合った建築デザインというものが明らかに感じ取ることができた。



今回のウォークラリーで一番印象に残っている建物が左にある建物であった。全面ガラス張りでところが非常に興味深かった。

また外見からみた建物内部の様子や、外部の窓ガラスの凹凸によってできる模様のようなものも面白いと思った。

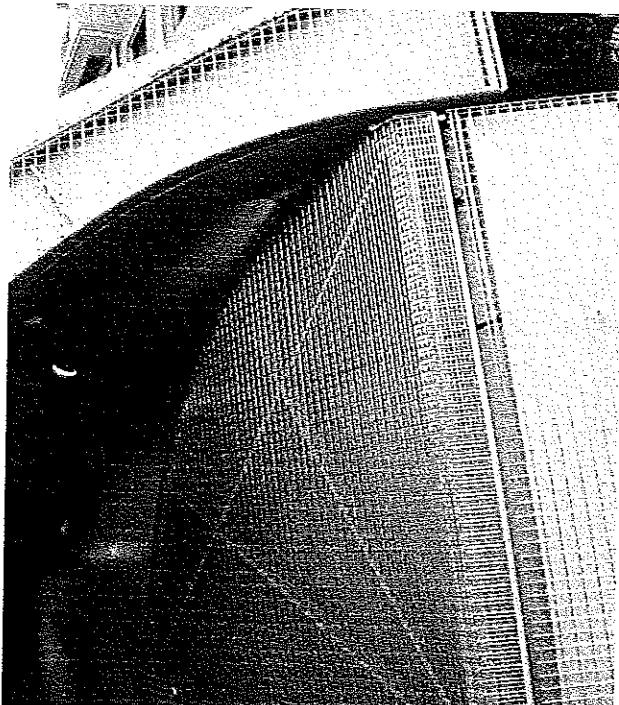
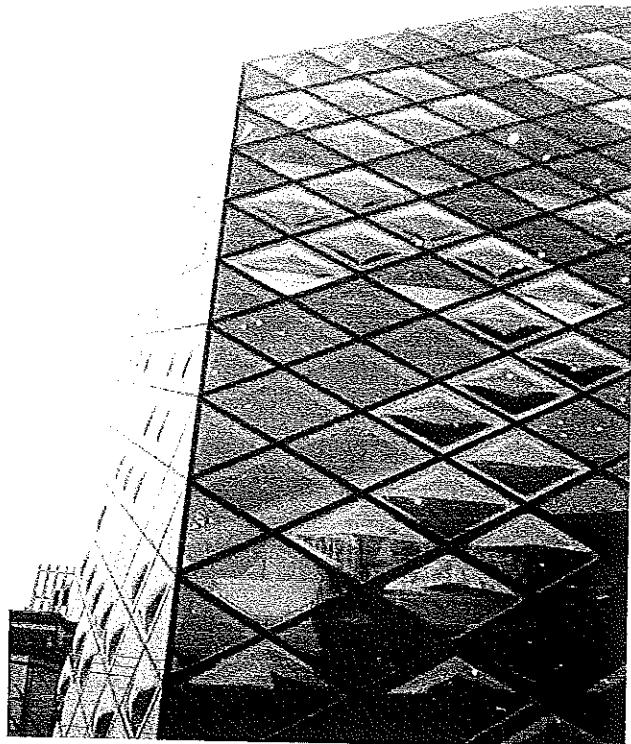
また、別の入り口からこの建物地下に直接入れるということにも、驚きますます興味が湧いた。(入り口:真ん中の写真)

また、この建物の耐震構造も見ることができ、前回の導入ゼミにて多摩美術大学の図書館でみた耐震構造と同様なものが見られ、また耐震について学ぶことができた。

#### ・ウォークラリー、導入ゼミを通して

ウォークラリーを行う前の導入ゼミにて、ウォークラリー同様のことを行ってきたので、とても多くの建築物に触れることができて本当に良かったと思う。授業にてよく教授が言う「建築は実際に見るべきだ」ということをこのゼミを通して、本当に分かったと思う。また、自分一人ではわからないようなことも教授やT

Aの方々の解説していただいたのでより建築物について、前の自分よりは理解できたと思う。そして、この導入ゼミ後も積極的に自分の足でいろいろな所に行き、いろいろな建築物を見ていこうと思う。

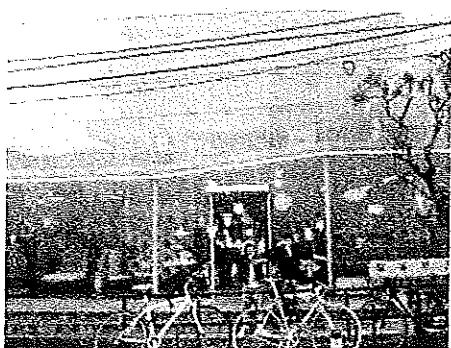


# ウォークラリー感想

佐々木ゼミ 10N1050 古明地 洋佳

私たちは、ウォークラリーで原宿、表参道へ行き、初めに、代々木体育館へ行きました。代々木体育館は、横を通り過ぎたりしたことがあるぐらいで、敷地内へ行き建築という観点から建物を見たことがありませんでした。しかし、今回佐々木先生にあの歪な天井の構造や仕組みなど、まだ1年の私には理解できないところも多少はありましたが、丁寧に分かりやすく教えていただき、代々木体育館に引き込まれて行きました。また同時に、あのような形の建築の耐震など様々な計算をするのはとても大変だろうと思いました。

代々木体育館を見た後は表参道のケヤキ並木を歩いていきました。表参道のあたりも普段あまり行かないで、とても新鮮でした。通り沿いにはGUCCI、Dior、Louis Vuitton、など様々な店が並んでいて、また一つ一つそれぞれおもしろい、きれいな建築だったので飽きることがありませんでした。



上の写真は、私が一番気に入った建築です。写真では少し分かりづらいかもしれません、ここは hhstyle.com というインテリアショップの原宿本店です。建築的にもスタイルシックで、壁がほぼガラス張りで中の様子もきれいに見え、この店の商品も展示してあるようでとてもお洒落な店でした。

今回のように実際に歩いてみると、新しい発見や見て自分の肌で感じて分かることもたくさんあり、感動もたくさんありました。また自分でも様々な場所に実際に行って自分の目で確かめてみたいと思います。そうして、勉強して自分も今回見てきたような素晴らしい建築を設計できるように頑張りたいと思いました。

10N1051

斎藤和輝

佐々木ゼミ

僕はウォークラリーで原宿の周りを歩いていろいろな建物や家具のデザインを見てきました。

僕の地元の秋田県ではデザインや色合いなどに凝っている建物はまったくと言っていいほどなかったので、さまざまな建物などがたくさん見れて、とても興奮しました。右に載せてある写真の建物は壁がガラスででき正在、しかもそのガラスの壁が膨らんでいたり、へこんでいたりして正在、この建物をつくるのは面白そうだなと思いました。自分も将来建物をつくるとしたら、この建物のような日本のどこを探しても1つしかないような建物をつくりたいな思いました。

その他にも、やたらたくさんのイスが売ってあるお店にもいきました。そのお店はイス以外にもいろいろな家具がおいてあったのですが、イスだけとてもたくさんあってビックリしました。さらに売っているイスが1つだけで何万も何十万もしてさらにビックリしました。

他にもルイヴィトンやブルガリのような高級なブランドの店もいくつか見てきました。外から見てもすごく高級そうで一生この店に入るとはないんだろうなと思いました。

とにかくとても勉強になったウォークラリーでした。

